

修了評価の方法(A)

評価基準作成者：賀川 秀輝

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>2 出題形式 穴埋め問題 記述式問題</p> <p>3 出題数 穴埋め問題 42問 (1問1点・42点) 記述式問題 2問 (5点・3点) 合計50点 (2) 介護における尊厳の保持・自立支援 3問 (穴埋め2問 記述式1問) (3) 介護の基本 3問 (4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 2問 {5} 介護におけるコミュニケーション 4問 (6) 老化の理解 4問 (7) 認知症への理解 2問 (8) 障害の理解 1問 (9) こころとからだのしくみと生活支援技術 25問 (穴埋め24問 記述式1問)</p> <p>4 合否判定基準 50点で満点とする。 60% (30点) 以上を合格とする。</p> <p>5 不合格になったときの取扱い 担当講師による補習のうえ、修了評価当日に再試験をする。 (補習費用及び再補修の費用は無料とする。) ただし、再評価の試験の回数は最大3回までとする。従って最終評価の結果不合格となった者は未修了扱いとするため注意すること。</p>
------------	--

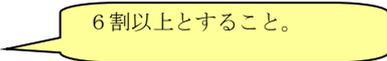
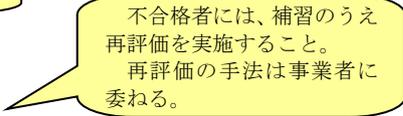
修了評価の方法(B)

評価基準作成者：賀川 秀輝

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>2 出題形式 穴埋め問題 記述式問題</p> <p>3 出題数 穴埋め問題 42問 (1問1点・42点) 記述式問題 2問 (5点・3点) 合計50点 (2) 介護における尊厳の保持・自立支援 8問 (穴埋め7問 記述式1問) (3) 介護の基本 3問 (4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 5問 {5} 介護におけるコミュニケーション 4問 (6) 老化の理解 5問 (7) 認知症への理解 1問 (記述式) (8) 障害の理解 3問 (9) こころとからだのしくみと生活支援技術 15問</p> <p>4 合否判定基準 50点で満点とする。 60% (30点) 以上を合格とする。</p> <p>5 不合格になったときの取扱い 担当講師による補習のうえ、修了評価当日に再試験をする。 (補習費用及び再補修の費用は無料とする。) ただし、再評価の試験の回数は最大3回までとする。従って最終評価の結果不合格となった者は未修了扱いとするため注意すること。</p>
------------	---

修了評価の方法

評価基準作成者： _____

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。〇〇テキスト〇ページから〇ページまでの間で出題する。 等々 <p>2 出題形式</p> <p>四肢択一形式及び記述形式とする。 等々</p> <p>3 出題数</p> <ul style="list-style-type: none">択一問題〇問（配点〇点）、記述式問題〇問（配点〇点） 全問正解：〇点満点「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から〇問 等々 <p>4 合否判定基準</p> <p>〇点以上 </p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">結果発表後、直ちに〇時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は〇点以上とする。 補習料：1時間あたり〇円 再評価料〇円再試験を最大〇回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には・・・ 再試験料：1回あたり〇円不合格者には、修了評価者が直ちに個別指導を行い・・・ 等々 
------------	---